



## 平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月13日

上場取引所 東

上場会社名 松田産業株式会社

コード番号 7456 URL <http://www.matsuda-sangvo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松田 芳明

問合せ先責任者 (役職名) 取締役IR部長 (氏名) 木下 敦視

TEL 03-5381-0728

四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日

配当支払開始予定日

平成27年12月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	85,366	△2.6	2,047	1.9	2,355	1.7	1,569	0.6
27年3月期第2四半期	87,623	4.5	2,010	△16.6	2,316	△13.1	1,560	△10.1

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 1,643百万円 (15.6%) 27年3月期第2四半期 1,422百万円 (△42.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	59.08	—
27年3月期第2四半期	58.61	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	70,260	52,286	74.4
27年3月期	73,427	51,176	69.7

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 52,283百万円 27年3月期 51,173百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	12.00	—	13.00	25.00
28年3月期	—	14.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	14.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

28年3月期第2四半期末配当金の内訳 普通配当 13円00銭 記念配当 1円00銭

28年3月期期末配当金の内訳 普通配当 13円00銭 記念配当 1円00銭

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	183,000	1.9	4,600	△15.0	5,100	△12.6	3,400	1.7	128.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期2Q	28,908,581 株	27年3月期	28,908,581 株
28年3月期2Q	2,438,233 株	27年3月期	2,308,999 株
28年3月期2Q	26,560,842 株	27年3月期2Q	26,625,910 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在手にしている情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、【添付資料】P.3「1. 当四半期決算に関する定性情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 3
3. 四半期連結財務諸表	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 9
(継続企業の前提に関する注記)	P. 9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 9
(セグメント情報等)	P. 9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢は改善傾向にあり、緩やかな回復基調が続いているものの、個人消費回復の停滞感や、国内の生産活動及び輸出などに弱さが認められる状況で推移しております。先行きについては、国内の物価上昇や中国経済をはじめとした海外景気の下振れ懸念など、依然として不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループの貴金属関連事業においては、貴金属原料の確保、化成品等の製品販売及び産業廃棄物処理受託の拡大に鋭意取り組むとともに、海外の拠点の拡充にも積極的に取り組み、ベトナムの現地法人において貴金属製錬工場の稼働準備を進めております。また、食品関連事業においても海外拠点の強化と顧客ニーズを捉えた商品の提供に取り組み、販売量の拡大に努めております。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高85,366百万円（前年同四半期比2.6%減）、営業利益2,047百万円（前年同四半期比1.9%増）、経常利益2,355百万円（前年同四半期比1.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,569百万円（前年同四半期比0.6%増）となりました。

各セグメント別の概況は次のとおりであります。

#### 貴金属関連事業

当事業の主力顧客である半導体・電子部品業界の生産状況は、スマートフォンや自動車等の市場動向に左右されて落差が見られ、写真感材業界も市場の縮小が継続し、当社グループの貴金属リサイクル及び産業廃棄物処理の取扱量は増加したものの、貴金属製品及び電子材料等の販売量は減少し、金を除いた価格下落もあり、全体としての売上高は前年同四半期に比べ減少しました。

これらの結果、当該事業の売上高は56,411百万円（前年同四半期比7.9%減）、営業利益は1,518百万円（同6.3%増）となりました。

#### 食品関連事業

当事業を取り巻く状況は、円安などによる原価高騰や、個人消費の持ち直しに弱さがあるといった厳しい事業環境が依然続く中で、水産品、畜産品及び農産品ともに販売数量は増加し、価格の上昇もあり、売上高は前年同四半期に比べ増加しました。

これらの結果、当該事業の売上高は28,990百万円（前年同四半期比9.7%増）、営業利益は529百万円（同9.0%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (1) 資産、負債及び純資産の状況

##### (総資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ3,167百万円減少し、70,260百万円となりました。これは主としてたな卸資産とその他流動資産の減少によるものです。

##### (負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ4,277百万円減少し、17,973百万円となりました。これは主として借入金及び未払法人税等の減少によるものです。

##### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ1,109百万円増加し、52,286百万円となりました。これは主として期末配当金の支払いによる減少を親会社株主に帰属する四半期純利益による増加が上回ったことによるものです。

## (2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ1,448百万円増加し7,310百万円となりました。

## （営業活動のキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動により増加した資金は4,673百万円となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益、たな卸資産の減少及びその他流動資産の減少による資金の増加と、法人税等の支払いによる資金の減少の差引によるものです。なお、前年同四半期の1,564百万円の資金の減少に比べ6,237百万円増加しました。

## （投資活動のキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における投資活動に使用した資金は285百万円となりました。これは主として工場設備の新設・更新等の有形固定資産取得によるものです。なお、前年同四半期の1,421百万円の支出に比べ1,135百万円の支出減少となりました。

## （財務活動のキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における財務活動により減少した資金は2,918百万円となりました。これは主に借入金返済と、配当金の支払い及び自己株式の取得によるものです。なお、前年同四半期の1,865百万円の資金の増加に比べ4,784百万円減少しました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間における業績が予想を下回ったことと、現在の市場環境並びに貴金属市況に弱さが認められることから、平成28年3月期の通期連結業績予想を平成27年5月11日に公表した予想値から下記のとおり修正致します。

平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	185,000	5,400	5,800	3,900	146.83
今回修正予想(B)	183,000	4,600	5,100	3,400	128.01
増減額(B-A)	△2,000	△800	△700	△500	-
増減率(%)	△1.1	△14.8	△12.1	△12.8	-
(ご参考) 前期実績 (平成27年3月期)	179,523	5,410	5,832	3,342	125.61

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

## (1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、 「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,003	7,310
受取手形及び売掛金	19,218	18,790
商品及び製品	16,576	15,223
仕掛品	309	261
原材料及び貯蔵品	6,667	5,792
繰延税金資産	485	370
未収入金	653	451
その他	3,501	2,057
貸倒引当金	△41	△9
流動資産合計	53,374	50,246
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,870	8,241
減価償却累計額	△4,096	△4,222
建物及び構築物(純額)	3,773	4,019
機械装置及び運搬具	7,199	7,251
減価償却累計額	△5,115	△5,400
機械装置及び運搬具(純額)	2,083	1,850
土地	7,852	7,825
リース資産	150	189
減価償却累計額	△60	△79
リース資産(純額)	89	110
建設仮勘定	419	273
その他	1,047	1,061
減価償却累計額	△772	△821
その他(純額)	274	239
有形固定資産合計	14,494	14,319
無形固定資産		
その他	188	192
無形固定資産合計	188	192
投資その他の資産		
投資有価証券	3,911	4,018
その他	1,605	1,553
貸倒引当金	△147	△70
投資その他の資産合計	5,369	5,501
固定資産合計	20,052	20,013
資産合計	73,427	70,260

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	7,922	7,453
短期借入金	3,582	2,015
1年内返済予定の長期借入金	1,298	948
リース債務	33	38
未払法人税等	1,401	624
賞与引当金	627	753
未払金	856	599
繰延税金負債	-	28
その他	2,779	2,161
流動負債合計	18,502	14,623
固定負債		
長期借入金	2,546	2,096
リース債務	56	72
役員退職慰労引当金	599	615
退職給付に係る負債	113	58
繰延税金負債	408	478
その他	24	29
固定負債合計	3,748	3,350
負債合計	22,250	17,973
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,559	3,559
資本剰余金	4,008	4,008
利益剰余金	43,942	45,165
自己株式	△2,621	△2,809
株主資本合計	48,888	49,923
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	543	446
繰延ヘッジ損益	△79	110
為替換算調整勘定	1,798	1,778
退職給付に係る調整累計額	22	24
その他の包括利益累計額合計	2,285	2,359
非支配株主持分	2	2
純資産合計	51,176	52,286
負債純資産合計	73,427	70,260

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	87,623	85,366
売上原価	79,897	77,285
売上総利益	7,725	8,081
販売費及び一般管理費	5,715	6,033
営業利益	2,010	2,047
営業外収益		
受取利息	3	7
受取配当金	11	13
持分法による投資利益	249	327
仕入割引	8	7
受取家賃	26	4
受取保険金	18	5
補助金収入	2	53
為替差益	15	-
その他	26	16
営業外収益合計	361	436
営業外費用		
支払利息	21	21
為替差損	-	80
賃貸収入原価	19	-
固定資産除却損	1	12
その他	12	13
営業外費用合計	54	128
経常利益	2,316	2,355
税金等調整前四半期純利益	2,316	2,355
法人税、住民税及び事業税	786	623
法人税等調整額	△30	163
法人税等合計	755	786
四半期純利益	1,561	1,569
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,560	1,569



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	1,561	1,569
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	87	△96
繰延ヘッジ損益	△40	189
為替換算調整勘定	△142	△37
退職給付に係る調整額	3	1
持分法適用会社に対する持分相当額	△46	16
その他の包括利益合計	△138	74
四半期包括利益	1,422	1,643
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,422	1,643
非支配株主に係る四半期包括利益	0	0

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,316	2,355
減価償却費	657	584
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△12	△108
賞与引当金の増減額(△は減少)	93	125
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△54	△53
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△31	15
受取利息及び受取配当金	△15	△21
支払利息	21	21
持分法による投資損益(△は益)	△249	△327
売上債権の増減額(△は増加)	△3,456	428
未収入金の増減額(△は増加)	470	201
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,212	2,265
仕入債務の増減額(△は減少)	△101	△460
未払金の増減額(△は減少)	△222	△302
その他	734	1,264
小計	△1,059	5,988
利息及び配当金の受取額	47	118
利息の支払額	△21	△21
法人税等の支払額	△530	△1,412
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,564	4,673
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の払戻による収入	-	141
有形固定資産の取得による支出	△1,292	△350
無形固定資産の取得による支出	△9	△31
投資有価証券の取得による支出	△4	△5
投資有価証券の売却による収入	-	2
その他	△115	△43
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,421	△285
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	2,640	△1,567
長期借入金の返済による支出	△328	△799
自己株式の取得による支出	△94	△188
配当金の支払額	△320	△345
その他	△31	△18
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,865	△2,918
現金及び現金同等物に係る換算差額	△60	△19
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,180	1,448
現金及び現金同等物の期首残高	6,798	5,861
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,617	7,310

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	貴金属関連事業	食品関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	61,221	26,401	87,623	—	87,623
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2	32	35	△35	—
計	61,223	26,434	87,658	△35	87,623
セグメント利益	1,428	581	2,010	—	2,010

(注) 1 調整額の内容は、セグメント間取引及び振替高の消去であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	貴金属関連事業	食品関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	56,409	28,957	85,366	—	85,366
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2	32	34	△34	—
計	56,411	28,990	85,401	△34	85,366
セグメント利益	1,518	529	2,047	—	2,047

(注) 1 調整額の内容は、セグメント間取引及び振替高の消去であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。